



福祉用具の研究開発の推進

～SBIR推進プログラムの実施について～



国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
スタートアップ支援部 SBIRチーム



はじめに

「国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構」

(New Energy and Industrial Technology Development Organization)



略称：NEDO（ネド）と申します。

Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2025年度実施の公募概要の紹介

4. 2025年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2026年度の応募検討に向けた
お願い

7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介

Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2025年度実施の公募概要の紹介

4. 2025年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2026年度の応募検討に向けた
お願い

7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介



1. NEDOについて

(1) NEDOとは

- ①持続可能な社会の実現に必要な技術開発の推進を通じて、イノベーションを創出する、国立研究開発法人です。
- ②リスクが高い革新的な技術の開発や実証を行い、成果の社会実装を促進する「イノベーション・アクセラレーター」として、社会課題の解決を目指します。

(2) NEDOの概要

- 設立：2003年10月1日(前身の特殊法人は1980年10月1日設立)
- 事業内容：技術開発マネジメント関連業務
- 職員数：1,562名(2025年4月1日現在)
- 予算額：約1,464億円(2025年4月時点)
- 主務大臣：経済産業大臣

1. NEDOについて

(3)NEDOが担う役割

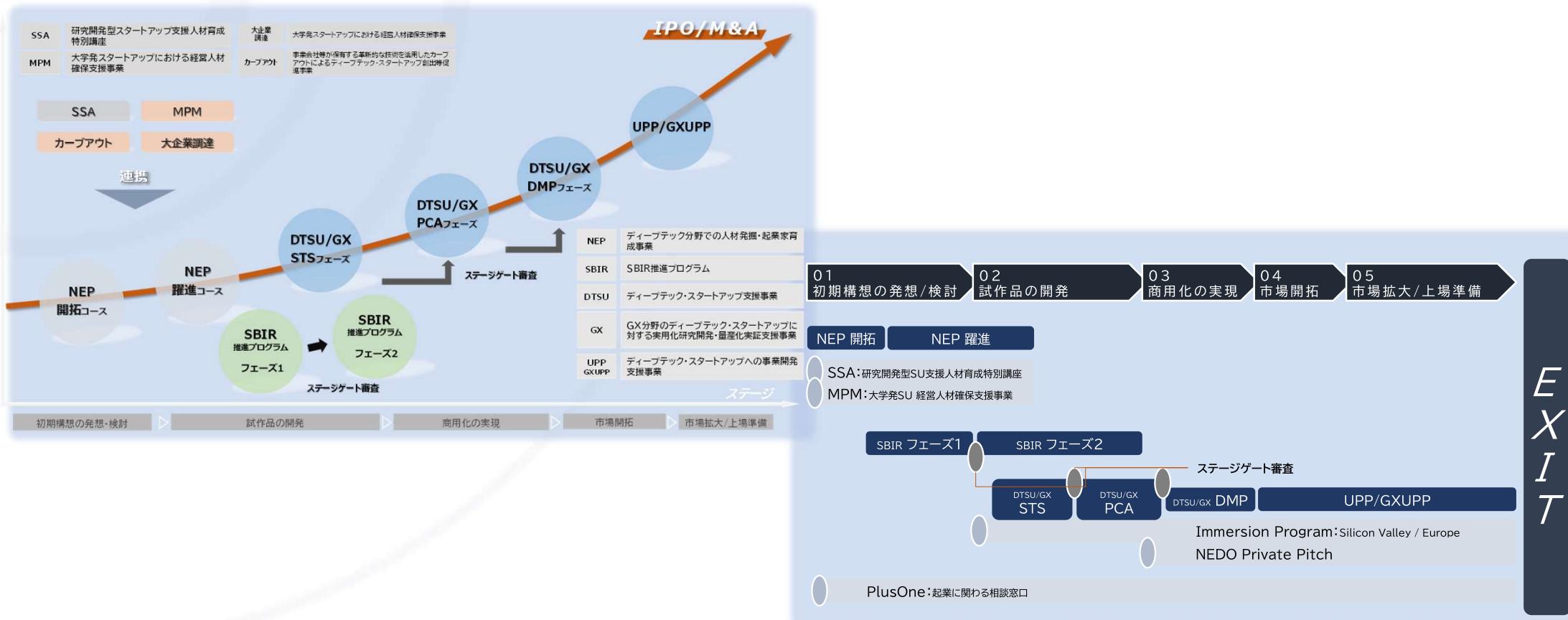
技術戦略の策定、プロジェクトの企画・立案を行い、プロジェクトマネジメントとして、产学研官の強みを結集した体制構築や運営、評価、資金配分等を通じて技術開発を推進し、成果の社会実装を促進することで、社会課題の解決を目指します。



NEDOが、**直接技術開発を行うのではなく関係機関とのハブとなり、**技術開発の推進に寄与する役割を担っています。

1. NEDOについて

(4) NEDOが行っている研究開発支援



Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2025年度実施の公募概要の紹介

4. 2025年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2026年度の応募検討に向けた
お願い

7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介

2. SBIRプログラムについて

(1) SBIRとは

Small/Startup Business Innovation Researchの略称で、スタートアップ等による研究開発を促進し、その成果を円滑に社会実装し、それによって我が国のイノベーション創出を促進するための制度です。

(2) 日本版SBIR制度とは

- ①多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等を支援する制度です。
- ②内閣府を司令塔として省庁横断的に実施する制度です。

(3) SBIR推進プログラムとは

国の設定する課題(調達ニーズ、社会課題)の解決に資する技術を有する者を公募で募り、革新的な技術の概念実証や実現可能性調査を支援する(フェーズ1)とともに、フェーズ1で得られた成果等を前提として当該者が事業化に向けて取り組む研究開発を支援する(フェーズ2)ものです。

2. SBIRプログラムについて



(4) SBIRプログラムの中の福祉関連課題について

2022年より研究開発課題の中に組み込まれ、以下の研究開発課題で公募を行っております。

2022年度

- 第一回目公募
「高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発」
- 第二回目公募
「各障害の特異性・個別性も留意しつつ、多様化する障害像への汎用性も見据えた自立支援機器の開発」

2023年度

- 一気通貫型
- 連結型

2024年度

- 一気通貫型
- 連結型

2025年度

- 一気通貫型
「高齢者の自立支援や介護者の負担軽減・生産性向上に資する福祉機器の開発」
- 連結型
「多様化する障害像を見据えた自立支援機器の開発」

2. SBIRプログラムについて



(5)事業の内容 一提案のフェーズについてー

本事業では、年度毎に、国の設定する研究開発課題について、以下のフェーズ1及びフェーズ2で、事業化に向けて取り組む研究開発に対して助成します。

フェーズ1

公募要領に示された研究開発課題に対して、解決に資する技術シーズを有しているスタートアップ等が、事業化に向けて必要となる基盤研究のための概念実証(POC: Proof of Concept)・実現可能性調査(FS: Feasibility Study)を実施します。

一気通貫型および連結型で公募を行いました。

ステージゲート審査

本事業では、優れた研究開発課題を継続的に支援することを目的に、ステージゲート審査によりフェーズ1からフェーズ2への移行の可否を判断する段階的な審査方法を導入しています。

2023年度、2024年度フェーズ1事業者の中で、次フェーズへの移行を希望する事業者を対象としました。

フェーズ2

公募要領に示された研究開発課題に対して、POC/FSを完了しているスタートアップ等が、事業化に向けた研究開発を実施します。

一気通貫型で公募を行いました。

Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2025年度実施の公募概要の紹介

4. 2025年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2026年度の応募検討に向けた
お願い

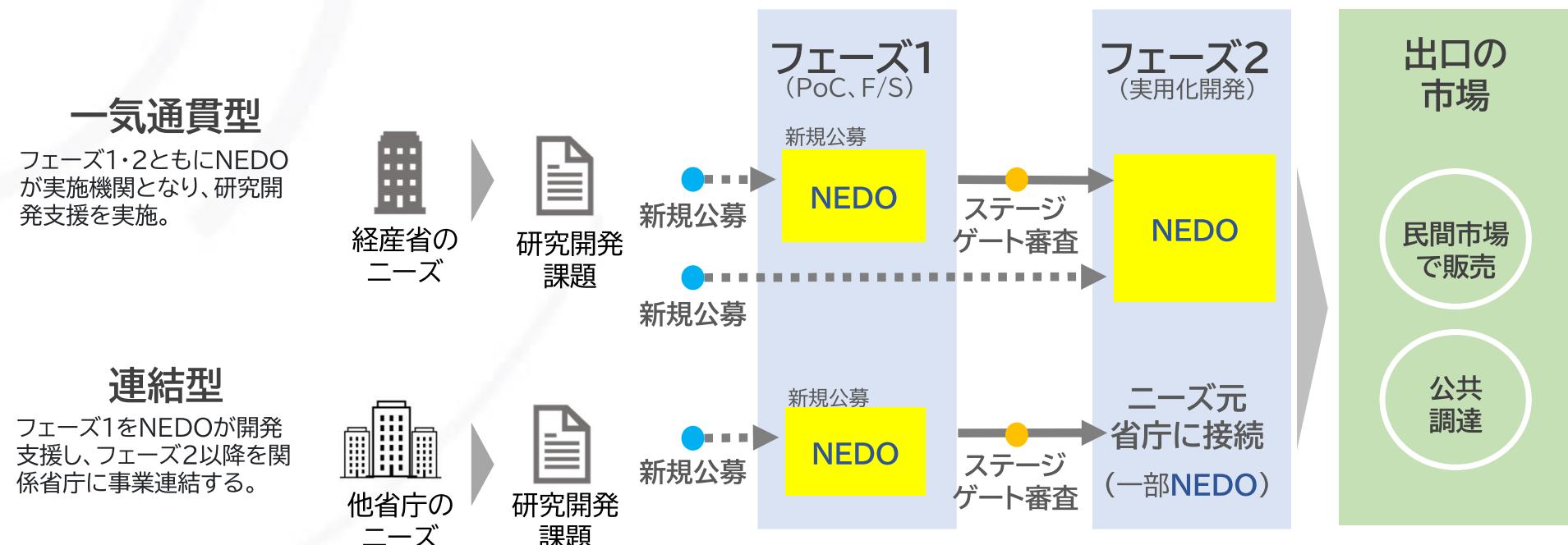
7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介

3.2025年度実施の公募概要の紹介



(1) NEDOで実施のSBIRプログラムの概要(2025年度実施分)

2025年度は、「一気通貫型」タイプと「連結型」タイプの2回の公募を実施しました。



*2025年度の応募受付は既に終了していますので、次年度検討に向けた参考用としての案内となります。
2026年度の実施有無、実施概要は現段階では未定です。

3.2025年度実施の公募概要の紹介



(2)2025年度の公募課題のご紹介

一気通貫型の公募福祉関連課題

【課題名】 高齢者の自立支援や介護者の負担軽減・生産性向上等に資する福祉機器の開発	【課題設定元】 経済産業省	【研究開発内容】 政策課題へのアプローチとして、以下の 3 つの方向性で研究開発を実施する。 A)高齢者や障害者のフレイルを予防する技術・製品(福祉機器)の開発 B)高齢者や障害者の自立を促す技術・製品(福祉機器)の開発 C)介護者の生産性向上や負担の軽減につがる技術・製品(福祉機器)の開発 具体的には、AI などの先端技術やデータ連携技術を使って既存の機器類の機能改善に取り組むような研究開発、アプリケーション開発、等を含めた福祉用具全体を対象とする研究開発提案を募集する。
---	-------------------------	---

3.2025年度実施の公募概要の紹介



(2)2025年度の公募課題の紹介(福祉関連)

連結型の公募福祉関連課題

【課題名】 多様化する障害像を見据えた自立支援機器の開発	【課題設定元】 厚生労働省	【研究開発内容】 障害者の真のニーズを捉えながらも汎用性を見据えた製品開発及び、製品の継続的な提供を視野に入れた支援機器の研究開発を対象とする。 以下に具体例を示す。 <ul style="list-style-type: none">● 障害児・者の知的及び認知機能を補助し、自立生活を支援する機器● 障害者の就労及び就労に関連する活動(通勤、身支度、在宅勤務等)を支援する機器● 障害児・者の日常生活関連活動(家事、買い物、・外出時の移動・経路案内、金銭管理等)を支援する機器● 障害児・者の余暇活動(遊び、趣味、スポーツ等)を支援する機器 ※技術はあるが、既存の製品として広く流通していないものが望ましい。機器にはシステム、アプリケーションの開発を含む。 ※医療機器は対象外とする。医療機器に該当するか判断できない場合は、事前に都道府県薬務課へ問い合わせること。
--	-------------------------	--

Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2025年度実施の公募概要の紹介

4. 2025年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2026年度の応募検討に向けた
お願い

7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介

4.2025年度公募結果の紹介



(1)一気通貫型公募の結果について

2025年度に実施の一気通貫型の公募において、福祉関連課題については8件が実施予定先として決定しました。

(2)連結型公募の結果について

2025年度に実施の連結型の公募において、福祉関連課題については1件が実施予定先として決定しました。

Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2025年度実施の公募概要の紹介

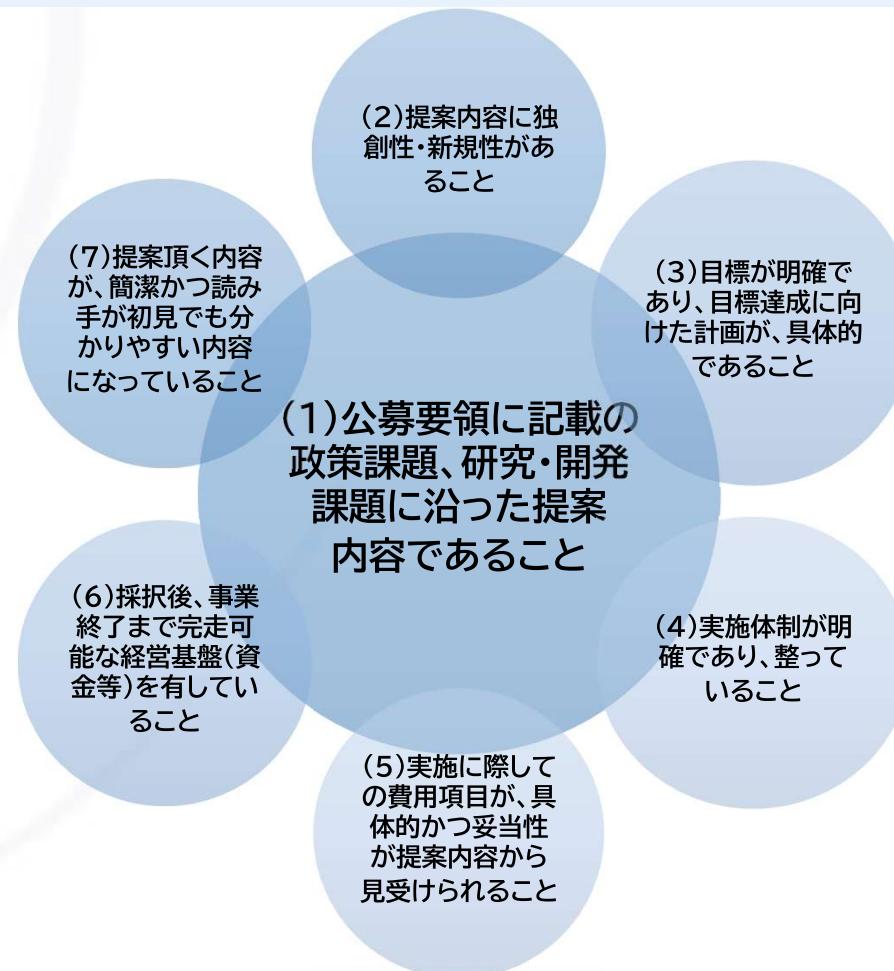
4. 2025年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2026年度の応募検討に向けた
お願い

7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介

5.採択に向けた提案のポイント



Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2025年度実施の公募概要の紹介

4. 2025年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2026年度の応募検討に向けた
お願い

7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介

6.2026年度の応募検討に向けたお願い



2026年度公募については、現在準備中です。

公募に関する情報は、隨時NEDOのホームページに掲載いたしますので、ご確認下さい。

<https://www.nedo.go.jp/>

The screenshot shows the NEDO website's application search interface. A green box highlights the '公募' (Call for Proposals) button in the top navigation bar. A green arrow points from this button to a green box containing the text '公募をクリック' (Click the call for proposals). Another green arrow points from this box to a green box containing the text '画面下までスクロールして公募一覧をクリック' (Scroll down to the bottom and click the call for proposal list). A third green arrow points from this box to a green box containing the text '「SBIR」と入力し検索をクリック' (Input 'SBIR' and click search). The search results page shows a list of calls for proposals, with one entry highlighted: '2025年度「SBIR推進プログラム」(連続型)に係る実施体制の決定について' (Decision on the implementation system for the 2025 SBIR Promotion Program (Continuous Type)).

Contents

1. NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2024年度実施の公募概要の紹介

4. 2024年度公募結果の紹介

5. 採択に向けた提案のポイント

6. 2025年度の応募検討に向けた
お願い

7. スタートアップ企業を支援する
サービスの紹介

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

(1)Plusについて

政府系22機関は、連携協定を締結し、スタートアップ支援機関連携協定(Plus: “Platform for unified support for startups”)を創設しました。これまでに独自に実施していた各協力機関の既存の取り組みを、他機関の支援メニューと連携することで、支援の幅を広げていきます。



7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

(2)相談先:相談を希望の場合は、政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口
“Plus One”へお願いします。



Plus (Platform for unified support for startups) 参加22機関		
シード期 技術シーズ創出・研究開発・人材育成支援	アーリー期 支援・ファンディング	エクスパンション期 海外展開支援
金融支援・投資	知財支援	



<https://app23.infoc.nedo.go.jp/qa/enquetes/bg4bpyn8qh71>

Plus Oneへのお問い合わせはこち
ら
※NEDOのスタートアップ向けHP Start!ps from NEDO内に
お問合せフォームがあります

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

Plus スタートアップ

- Plus参加22機関の支援メニューから最適なものをご紹介
- 民間企業も含めた他機関とも必要に応じて連携・紹介

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介



(3)SBIRプログラム 採択事業者事業への伴走支援について

■事業化へ向けた支援策

助成事業後の事業化へ向けて、伴走支援を実施しています。

2025年度からさらなる高度化をめざし、伴走支援策を強化していきます。

定期的な情報交換・共有

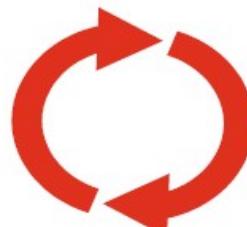
報告会でのニーズ元等との状況共有

事業を円滑に推進いただくために、メンター等と相談

事業者



メンター





ご視聴ありがとうございました。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

お問い合わせ先
NEDOスタートアップ支援部 SBIRチーム
sbir_pfg@nedo.go.jp